

誰もがいきいきと働けるための環境整備に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四条によって提出する。

平成二十七年七月三十一日

石上俊雄

参議院議長 山崎正昭殿

誰もがいきいきと働けるための環境整備に関する質問主意書

一 高年齢者が働きやすい環境整備について

1 高年齢者が安心していきいきと働くことを可能とするよう、加齢を考慮した職場環境整備やスキルチェンジ教育等の研修を積極的に行う企業に対する助成措置を講じ、また、高年齢者雇用確保措置に関する実施状況の把握・監督指導を徹底すべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

2 育児・介護以外の目的（社会・地域貢献活動や自発的な職業能力形成等）を事由とする短時間勤務制度を法制化し、また、当面の導入促進のため、好事例の収集・提供・普及を行うとともに、制度を導入した企業への各種奨励策を推進するべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

3 技能伝承や指導等これまでの経験を生かした職務を開発し、それを求める若年者とのマッチングを図る取組を進めるために、その奨励や好事例の共有等を図るべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

二 女性の活躍推進に向けた環境整備について

1 女性の活躍推進を実現するために、女性の登用推進と同時に、社会全体としての性別役割分担意識の払拭等の意識改革、仕事と家庭の両立支援、長時間労働に頼らない働き方の実現、キャリア開発支援等への取組を推進するべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

2 多くの女性がパート等の非正規労働に従事していることから、非正規労働者の雇用の安定や処遇の底上げ等にも取り組むべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

三 不妊治療支援の充実について

1 子を望む親に対して、不妊治療への経済的支援措置の拡充を行う若しくは健康保険の対象とするべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

2 特定不妊治療費助成事業の助成額、回数、期間の更なる拡大、所得制限の緩和等を強力に推進すると

ともに、現在特定不妊治療費助成の対象となつていない体外受精及び顕微授精以外の不妊治療に対しても新たに助成制度を設けるべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

四 パワーハラスメント対策の充実について

二〇一二年三月に発表された「職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた提言」を踏まえ、実態把握のための調査研究等を活用し、定義の検証や、法制化などを見据え、引き続き実効性のある施策の検討を行うべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

五 障害者に対する就労支援の強化・充実について

1 「障害者に対する差別の禁止に関する規定に定める事項に関し、事業主が適切に対処するための指針」（障害者差別禁止指針）及び「雇用の分野における障害者と障害者でない者との均等な機会若しくは待遇の確保又は障害者である労働者の有する能力の有効な発揮の支障となつていない事情を改善するために事業主が講ずべき措置に関する指針」（合理的配慮指針）について、事業者に対する周知の取組を

積極的に推進するべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

2 就労移行支援等の障害福祉サービスの在り方について、「福祉から一般就労へ」の流れを途切れさせることのないよう議論を進めるべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

3 一般就労へ向けて、引き続き、就労移行支援事業者への支援を推進するべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

六 障害児・障害者の保護者への支援の強化・充実について

障害児・障害者の訪問保育（居宅訪問型保育）や放課後等デイサービスの拡充、学校や在籍校以外への通級等の送迎支援等、保護者が障害児・障害者を支え、働き続けることのできる社会支援体制や障害福祉サービスの強化・充実を進めるべきと考えるが、政府の見解を明らかにされたい。併せて現在までの取組、その自己評価及び今後の施策の方向性を示されたい。

右質問する。